

資 料	2
--------	---

令和 8 年度 国民健康保険特別会計当初予算(案) の概要

1. 概 要 2 ~ 5
2. 資 料 (医療費の動向) 6

令和8年度 国民健康保険特別会計予算（案）

歳入の状況

款 別	令和8年度予算(案) (A)		令和7年度予算 (B)		比 較 (A) - (B)	
	予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)	予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	増 減 率 (%)
1 国民健康保険税	533,788	21.7	515,852	19.8	17,936	3.5
2 一部負担金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
3 分担金及び負担金	2	0.0	2	0.0	0	0.0
4 使用料及び手数料	2	0.0	2	0.0	0	0.0
5 国庫支出金	4,401	0.2	1	0.0	4,400	440,000.0
6 県支出金	1,708,800	69.5	1,864,997	71.6	△156,197	△8.4
7 財産収入	356	0.0	170	0.0	186	109.4
8 繰入金	200,587	8.2	212,138	8.1	△11,551	△5.4
9 繰越金	7,585	0.3	7,210	0.3	375	5.2
10 諸収入	3,475	0.1	3,624	0.2	△149	△4.1
11 町債	2	0.0	2	0.0	0	0.0
合 計	2,459,000	100.0	2,604,000	100.0	△145,000	△5.6

歳出の状況

款 別	令和8年度予算(案) (A)		令和7年度予算 (B)		比 較 (A) - (B)	
	予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)	予 算 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	増 減 率 (%)
1 総務費	18,598	0.7	18,333	0.7	265	1.4
2 保険給付費	1,668,986	67.9	1,828,852	70.2	△159,866	△8.7
3 国民健康保険 事業費納付金	702,920	28.6	687,668	26.4	15,252	2.2
4 保健事業費	58,875	2.4	58,982	2.3	△107	△0.2
5 基金積立金	356	0.0	170	0.0	186	109.4
6 公債費	2	0.0	2	0.0	0	0.0
7 諸支出金	5,022	0.2	4,849	0.2	173	3.6
8 予備費	4,241	0.2	5,144	0.2	△903	△17.6
合 計	2,459,000	100.0	2,604,000	100.0	△145,000	△5.6

予算の概要

令和8年度の国民健康保険特別会計予算案の総額は、歳入歳出それぞれ24億5,900万円で、前年度当初予算額と比較して、1億4,500万円（5.6%）の減となりました。減となった主な要因は、被保険者数の減少による保険給付費の減少を見込んだことによります。

当町の被保険者等の現状は、令和7年12月末現在で被保険者数5,120人（加入割合23.5%）、加入世帯数3,395世帯（加入割合33.9%）であり、被保険者数、加入世帯数ともに減少が続いています。今後も、町人口の減少に加え、75歳に到達することにより後期高齢者医療制度に移行する方の増加や被用者保険の適用拡大が見込まれることもあり、被保険者数の減少は続いていくものと思われれます。

医療費については、被保険者数の減少により総額は減少傾向にありますが、一人当たりの医療費は、被保険者の高齢化や医療技術の高度化の進展により年々増加しています。

国民健康保険の運営は、今後も厳しい状況が続くことが見込まれるため、持続可能な運営を目指すことを重視して予算編成をしました。

【歳入】

- 1款・国民健康保険税は、5億3,378万8千円を計上しました。被保険者数の減少が見込まれるものの、基準総所得の増を見込んだことにより、前年度当初予算と比較すると1,793万6千円（3.5%）の増となります。
- 2款・一部負担金、3款・分担金及び負担金、4款・使用料及び手数料は、存目計上です。
- 5款・国庫支出金は、災害臨時特例補助金（1千円。存目計上）、子ども・子育て支援事業費補助金（440万円）で、440万1千円を計上しました。
- 6款・県支出金は、療養諸費及び高額療養費に充てられる普通交

付金、疾病予防や健康づくり、医療費適正化等の町の取組み状況に応じて交付される保険者努力支援分、特別調整交付金、特定健康診査等負担金などの特別交付金等で、17億880万円を計上しました。前年度当初予算と比較すると1億5,619万7千円（8.4%）の減となります。

○7款・財産収入は、財政調整基金の預金利子35万6千円を計上しました。

○8款・繰入金は、保険基盤安定繰入金、事務費繰入金、未就学児均等割保険税繰入金などに係る一般会計からの繰入金と国民健康保険財政調整基金からの繰入金で、2億58万7千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると1,155万1千円（5.4%）の減となります。

○9款・繰越金は、令和7年度からの繰越金で、758万5千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると37万5千円（5.2%）の増となります。

○10款・諸収入は、国民健康保険税の延滞金、交通事故に係る医療費請求（第三者納付金）などの雑入等で、347万5千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると14万9千円（4.1%）の減となります。

○11款・町債は、存目計上です。

【歳出】

○1款・総務費は、事務費を主とする総務管理費のほか、国民健康保険税の徴税費、国民健康保険運営協議会費で、1,859万8千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると26万5千円（1.4%）の増となります。

○2款・保険給付費は、療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児諸費、葬祭諸費等で、近年の医療費動向や前年度の給付実績を考慮し、16億6,898万6千円を計上しました。前年度当初予

算と比較すると1億5,986万6千円(8.7%)の減となります。

○3款・国民健康保険事業費納付金は、県が市町村に交付する保険給付費等交付金の財源となるもので、県の示す額7億292万円を計上しました。前年度当初予算と比較すると1,525万2千円(2.2%)の増となります。

○4款・保健事業費は、医療費通知やレセプト点検業務などの保健衛生普及費、糖尿病予防や人間ドック助成事業などの疾病予防費、特定健康診査等事業費や特定保健指導事業費で、5,887万5千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると10万7千円(0.2%)の減となります。

○5款・基金積立金は、財政調整基金の預金利子35万6千円を計上しました。

○6款・公債費は、存目計上です。

○7款・諸支出金は、国民健康保険税の還付金や東陽病院などへの繰出金等で、502万2千円を計上しました。前年度当初予算と比較すると17万3千円(3.6%)の増となります。

○8款・予備費は、424万1千円を計上しました。

国民健康保険医療費の動向

項目 年度	保険給付費(千円)				参 考		
	療養給付費	療養費	高額療養費	合 計	被保険者数 (人)	一人当り医 療費(千円)	指数*
H27	1,848,815	20,375	230,317	2,099,507	8,795	239	111
H28	1,801,382	19,016	245,749	2,066,147	8,211	252	110
H29	1,745,456	17,772	244,882	2,008,110	7,647	263	106
H30	1,697,995	15,764	243,687	1,957,446	7,154	274	104
R元	1,730,075	14,776	251,316	1,996,167	6,757	295	106
R 2	1,578,776	16,214	229,057	1,824,047	6,546	279	97
R 3	1,633,121	14,288	232,859	1,880,268	6,394	294	100
R 4	1,663,926	14,322	246,914	1,925,162	6,030	319	102
R 5	1,555,772	13,924	242,264	1,811,960	5,717	317	96
R 6	1,503,792	14,178	236,927	1,754,897	5,412	324	93

* この表の数値は、一般被保険者分と退職被保険者分の合計値です。

* 「被保険者数」は、年間の平均被保険者数です。

* 「指数」は、平成18年度(町合併時)の保険給付費を100とした場合の各年度の割合を示したものです。

